

感染予防対策について

以下、長い文になりますが歯科治療をなるべく安全に続けられるよう大切な事柄ですので最後までお読みいただけますと幸いです。

完全予約制です。患者さん同士が院内ですれ違わないように第2待合室の活用やアポイントの調整をしています。

待合室、洗口室、診療室は患者さん一人ごとに消毒液で清拭、乾燥、換気しています。このため乾燥前は入室できませんのでアポイントの時間、ちょうど位にいらしていただけますと助かります。お願いします。

医院入口の玄関マットに消毒液を含浸させてありますので靴底を少し擦ってから入室していただき手指消毒をお願いしております。

マスクは入室後、治療開始まで着用していただいてかまいません。途中の説明時なども同様です。

歯科医師、歯科衛生士共に常時マスク、ゴーグル、フェイスガードを着用しています。本当は患者さんのお顔を直接拝見してお話したいと思っておりますがこの状況下、申し訳ございません。

なお、飛沫を多く浴びる歯科医師は患者さん一人ごとに帽子や診療着を着替えています。歯科衛生士も適時、着替えています。グローブは患者さん一人ごとに交換ではなく、診療室の入退室時も含めて複数回、頻繁に交換しています。

衛生管理設備は当院のホームページに記載しております。以前から出来る限りの事はしており特に設備追加はしておりません。

口腔外バキュームも常時稼働させています。これらの機器にはさらに2か所、フィルターを追加しています。高性能HEPAフィルターの網目は0.3 μ Mです。最終的には0.01 μ Mの網目のフィルターを通しています。

合わせて業務用の大型の外気取り入れ装置と排気装置を稼働しています。

当院はオフィスビル内にありますのでトイレは共同です。ビル側が非接触式の水栓やハンドソープディスペンサーに交換していただきました。お手洗いに行かれる際は当院のスタッフにお声がけしてください。そのままトイレに流せるようにトイレットペーパーに消毒液を滲みこませたものをお渡しする際、ドアノブやスイッチ類の拭く順序などをご説明します。

歯科治療に発生する感染性のエアロゾル（歯を削る時に出る飛沫にウイルスがいた場合）から患者さん、スタッフを守るには究極的には宇宙服のような防護服と感染病患者に対応できる特殊な手術室内に歯科用診療台を設置するしかないと思います。通院道中の市中感染に対する対策も確率はしていません。

つまり「万全の感染予防対策をしているので安心して御来院ください」とは申し訳ありませんが言えません。

今回の新型コロナ感染症はまだわからないことが多く治療薬、ワクチンもない今現在、この感染症に対して当院で出来る事は患者さんとスタッフの感染の確率を可能な限り減らす為に、通院道中の感染予防のアドバイスに始まり、上記の院内での感染予防対策をする事、そのリサーチとアップデートです。治療方法なども工夫しています。